

# 死亡災害 都道府県別では最多

## 大阪労働局が府「危険ゼロ先取」へパト 下の14現場対象

14、15日に

大阪労働局（桑島靖夫局長）は、大阪危険ゼロ先取運動の一環として十四、十五の両日、大阪市内及び泉南など大阪府下の計十四現場を対象に建設現場の安全パトロールを実施する。

このような状況を受け、第二号館八階で出発式を行い、第一班、五班に分かれて各班が市内の二現場を担当し計十現場をパトロール。十五日は第六班の所長や、製造現場の安全管理者に「安全宣言」をそれぞれ実施して貰い、災害防止の意識高揚を図る方針。

十四日の初日は、大阪府中央区の大坂合同庁舎

昨年の大阪府下における労働災害による死亡者は全体で九十九人となり、前年に比べ二人減少したものの、都道府県別では最多。業種別でも建設業は、三十五人と他業種と比べて最も多くなっている。今年に入って労働災害による死亡者は九月二十日現在、全体で五十二人で、昨年同期に対し九人の減少にとどまっている状況にある。



福永支社長（左）から各社代表に感謝状が贈られた

### 24社の栄誉称え

都市再生機構西日本支社  
20年度優良施工業者表彰

都市再生機構西日本支社は一日、大阪市城東区

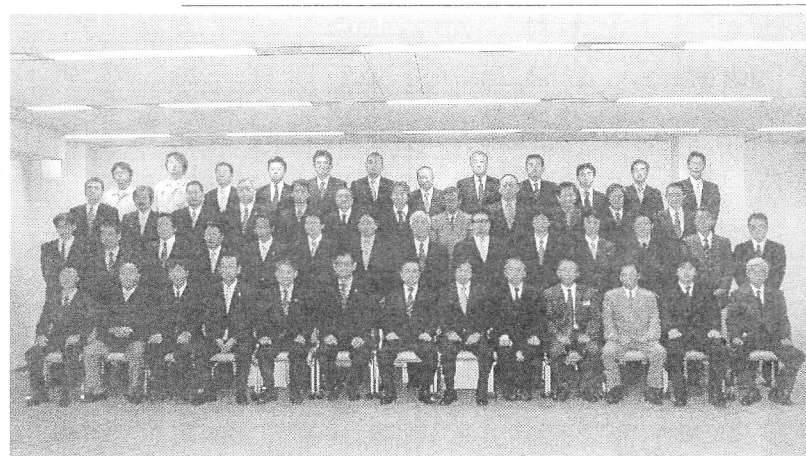
森之宮の同支社で二十年度優良施工業者の表彰式を行い、ニュータウン業務部門五社、住まいサポート業務部門十三社、技術監理部門五社、公園部門一社の計二十四社が晴れの栄誉に輝いた。

式典には、福永清理事・支社長をはじめ支社幹部が顔を揃え、施工各社の代表、現場所長らが出席。品質や安全などに優秀な成績を収めた精鋭二社の街づくりを進めていけることを目指す。また受賞者を代表して撮影が行われた。

贈られた。

福永支社長は「西日本建設では、我が国を代表するプロジェクト・大阪駅北地区をはじめ、吹田操車場跡地など関西活性化の街づくりを進めていけることを目指す。また受賞者を代表して撮影が行われた。」と決意を述べた。

表取締役は「



支社長を囲んで晴れの記念撮影

本日は、お忙しい中、表彰式にご出席を賜り、有難うございます。ただ今、当機構の平成19年度の工事におきまして、特に優秀な成績を収められた方々に対しまして、感謝状と記念品を贈呈させていただきました。本日の表彰は、ひとえに、皆様方の日頃からの技術力の研鑽の賜物であり、工事に対する熱意の表れと深く感謝の意を表すところでございます。

さて、私どもU R 都市機構西日本支社におきましては、わが国を代表するプロジェクトである大阪駅北地区をはじめ、吹田操車場跡地地区などの各地区におきまして、関西活性化のお役に立てる新しいまちづくりに全力を挙げて取り組んでいます。また地方都市におきましても、中心市街地活性化などの地域の課題に対応した、まちづくりのお手伝いをさせていただいているところです。

## 今後とも良きパートナーとして

都市再生機構西日本支社理事・支社長 福永 清

21万戸を超える賃貸住宅につきましては、安全・安心・快適な暮らしの確保を図ると同時に、少子高齢化が進むなかで、活気あふれる団地の構築をめざしてさまざまな取り組みを行うなど、居住環境や居住者サービスの向上に努めております。

さらにニュータウン事業につきましても、「彩都」や、今春ま

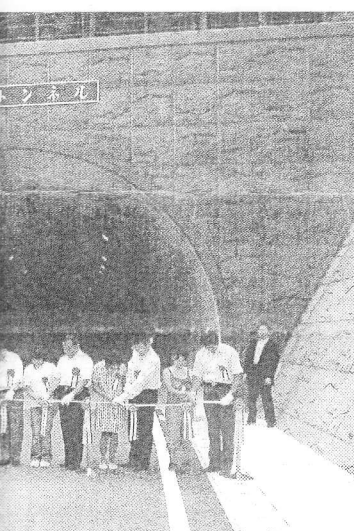
# 建設業に未来はあるのか！

= 3 =

## 中小、そして地方は①

「座り込みは会員業者に  
よるものではなく、関係  
していると思われるのは

災害協定は水害などの  
発生時、復旧工事の協力  
について市と協会支部が



「あたかも」正論、の如くな  
は生活に必要な道路一つ  
新宮のトンネル開通式

で進めている。  
月5日付で紹介  
「地産地消型  
ルの発想を掲げ  
を生かした環境  
一つのビジネス  
り立たせる努力  
いる。これなど  
アの関心も高く